



# 文教いしかわ

NO. 61

URL <http://www.bunkyo.or.jp/>

## 教育史に関する思い出と提言

前石川県立歴史博物館長 徳田 寿秋

それまで無関心であった教育史に興味や関心を持ち始めたのは、『石川県教育史』の編集執筆に加えて頂いたことがきっかけであった。この事業は昭和44年(1969)4月に企画され、3年間かけて周到な資料収集が行われ、その後執筆に入り、昭和49年3月から同52年3月までの間に分厚い体裁で3巻が刊行された。20代の後半から30代半ばまで、本務のかたわら、調査や執筆に奔走した日々を昨日のこのように思い出す。

幕末維新期に関心を持っていた私としては、藩政期から明治期を対象とした第一巻の幕末や明治初期の分野を執筆することは、それなりに楽しみでもあったが、大正期以降の二巻、三巻の執筆は、それほど多くもない分量とは言え、骨が折れるとともに、少しばかり苦痛でもあった。しかし、この貴重な体験によって教育史に興味や関心が湧き始め、その後、拙いながら教育史に関する研究めいた成果を発表することも出来た。

このような経験を生かし、いつかは自分が一応専門としてきた幕末維新期を中心に、この地域の近世の教育史についてまとめてみたいと思いつけてきたが、それ以上に興味をそそられる分野に時間を取られ、果たせないまま終わりそうである。しかし、いささか残念な思いもあり、退職後

は、思いの範囲を大幅にせばめ、この地域の教育史分野の一部である幕末維新期における海外留学についてだけでもまとめてみたいと今は取り組んでいる。

このような取組を進めるに当たり、今も時々この『石川県教育史』を紐解くのであるが、自身の執筆した分野に間違いを書いている部分や、その後の研究の進展で今では書き直すべきと思われる箇所にはしばしば出くわすことがある。

さて、近年、少子化などの影響で小学校から高校に至るまで、統合や廃校をせざるを得ない状況が起こり、そのことを機に貴重な教育に関する資料が散逸することを避けることを目的とし、同時に広く県内の教育に関する資料を収集することが、文教会館の教育資料収集整理事業として、同館内に設けられた調査資料室で進められ、2万4千程度の資料が集まっていると聞く。これらの資料をもとに、『石川県教育史』発刊後の本県の教育の推移を付け足すとともに、その後の研究等で手直しを加えた新しい本県の教育史の編纂が若い人たちの手によって、いつの日か取り組まれることを期待したい。

### いしかわ動物園から

## ウサギのふれあいタイム

子ども達にとっても人気があるのが、ウサギのふれあいタイムです。ウサギを膝の上にのせ、さわってもらいます。「あたたかいね」「かわいいね」と背中を優しくさわる子。「鼻が動いているね」「耳が長いね」とよく観察をする子。中にはウサギが動くと怖がって泣き出してしまう子もいます。反応はいろいろですが、子ども達は感じたこと、発見したことをよく話してくれます。ふれあいタイムを通して、ウサギも私たちと同じ「生きている」ということを感じてくれたらと思います。

飼育展示課 濱野沙織





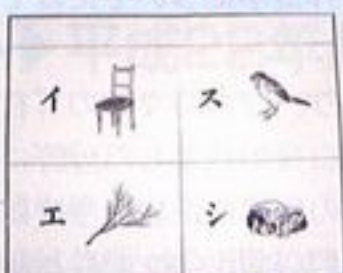
# 教育資料ロビー展 「文教会館所蔵 教科書展」

会期：11月1日(日)～11月7日(土)



「いしかわ教育ウイーク」の関連行事として当財団が開催する「教育資料ロビー展」は、今年で4回目を迎えます。今年度は、当財団が所蔵する約3,400点の教科書の中から、国定教科書時代の小学校国語教科書を中心に展示する「教科書展」を開催いたしました。期間中、約450人の入場者の皆さまから、大変珍しく貴重なものだというご感想をいただきました。また、お母様が懐かしがられるだろうと、教科書の写真を撮ってお土産にされる方や、熱心にご覧になられた後に教科書のコピーを持ち帰られる方など、大変興味を持ってご覧いただくことができました。

## ●国定教科書の通称は1年生最初の教材からきています。



イエスシ読本 (一期)



ハタ・タコ読本 (二期)



ハナ・ハト読本 (三期)



サクラ読本 (四期)



アサヒ読本 (五期)

国定第四期から色刷りです



三期



四期



五期

挿絵の移り変わり



終戦直後の教科書



当財団では、教科書を中心とした教育資料収集整理事業を行っています。資料室閲覧ご希望の方は、1階受付までお申し込みください。また、ホームページでも公開しています

## 平成22年度 教育資料ロビー展 (予定)

No	内容	日程
25	教育物具展	3/25 (木)～4/29 (木)
26	学校の一年をふり返る	5/6 (木)～6/7 (月)
27	特色ある学校の活動 (出展校調整中)	6月中旬～12月中旬
28	「いしかわ教育の日」関連行事	11/1 (月)～11/7 (日)
29	学校教育振興ビジョン成果発表	12/16 (木)～1/20 (木)
30	文教会館22年度のあゆみ	2/3 (木)～3/17 (木)

詳しい内容は、当館催物案内にてお知らせいたします。

### 文教ニュース

### 文教国際理解講座

### 英語でクッキング 2009.12.16

エリック先生の教室で、クリスマスクッキング教室が行われました。メニューは、スタッフチキンを中心にサラダなど盛りだくさんです。実は、内緒ですが、日本語が飛び交っていましたよ。





# 県内アマチュア作家の力作がずらり アートシアターいしかわホール

今年も県内各地からアマチュア陶芸作家の作品が待っていましたとばかりに集まりました。今回の特徴は、テクニックが巧妙でプロも顔負けの作品が多いとのことで、一般102点、青少年88点（グループ作品が多いため参加者約150人）、招待作品6点の合計196点が勢揃いしました。



## 入賞作品紹介



●いしかわ県民大賞  
(一般の部 最高賞)

「古代のやかた」谷内田 尚貴 (金沢市)

### 【審査員寸評】

技術的、造形的にすばらしく、古代の人類のにおいまでも感じさせる最高の作品ですね。



●石川県教育委員会賞  
(一般の部 準大賞)

「オブジェ(遺跡一壺の乱舞)」

高沢 弘志 (金沢市)

### 【審査員寸評】

デザインは若々しく色が無いのに色まで感じさせる。土の材質感を知りつくした作品ですね。



●石川県教育委員会賞  
(青少年の部 最高賞)

「翠雀」久保 慎也 (石川県立加賀高校)

### 【審査員寸評】

カワセミと雀。二羽はどんな会話かね？「お前が先にどうぞ。」そんな声までが聞こえてきます。作者のやさしさが感じられる作品ですね。



飯田審査員による列品解説

### ●文教会館理事長賞 4点

- 「籠目紋様管具(板付)」 飯田 七郎 (金沢市)
- 「珠洲海草文大鉢」 畑中 実 (珠洲市)
- 「カレー皿」 佐久間 葉 (能美市立湯野小学校)
- 「ピラフ皿」 佐久間 力 (能美市立湯野保育園)

### ●ラブロ賞 6点

- 「夜明け」 元 達郎 (金沢市)
- 「釉彩山葡萄絵壺」 西 孝俊 (宝達志水町)
- 「火器へちま」 山海 一男 (加賀市)
- 「翠筠」 西本 辰也 (石川県立加賀高校)
- 「蛙の相談」 小木中学校3年選択美術生 (能登町立小木中学校)
- 「森のお祭り」 錦城小学校ふるさと塾 (加賀市立錦城小学校)

## 文教コラム 400年前の文教会館

石川県金沢城調査研究所 副所長 木越 隆三

文教会館に引っ越してから1年半です。仕事柄、城から離れられない場所に、ということで、広坂庁舎(2号館)からこちらに来ましたが、ここが360年前、金沢城代を勤めていた前田丹後長時の屋敷地跡であったというのは、とてもゆかりを感じます。文教会館のある敷地は、江戸時代初頭は前田丹後(利家の孫)の屋敷でした。長時を城代に抜擢したのは3代藩主前田利常ですが、長時の叔父にあたります。利常は利家の四男で、姉(長女)の幸が嫁入りした前田長種(尾張荒子以来の同族で1584年から利家家臣となる)の次男が長時だから

です。長種の長男と嫡孫は大手門(尾坂門)前にあるKKRホテルあたりに広大な屋敷をもっていました。次男の長時は城の西内惣構の際に屋敷をもち、利常晩年に金沢城代をしていたのです。長時と利常は1つちがいですが叔父・甥の間柄でした。文教会館の前から近江町に続く街路(写真)は1599年に高山右近の指導で建設された内惣構の堀跡です。惣構の内道がいまも駐車場付近に明確に残っています。ときには400年前の城下町のことを思い出すのもいいでしょう。



文教会館前の道路(奥 尾山神社)



## ▶▶平成22年度 文教国際理解講座 —簡単な語学講座です—

講座	内容	曜日	講座時間(100分)
英米文化初級	挨拶程度の会話 (英検3級程度)	木 木	10:00~11:40 18:30~20:10
英米文化準中級	英語で簡単なコミュニケーション (英検準2級程度)	火 水 水 木	18:30~20:10 10:00~11:40 18:30~20:10 10:00~11:40
英米文化中級	英語でコミュニケーション (英検2級程度)	水 木	10:00~11:40 18:30~20:10
英米文化上級	日本語同様に会話 (英検準1級程度)	火	18:30~20:10
韓国文化初級	韓国語やハングルに親しむ	水	18:30~20:10

お仕事帰りに「ぶち外国語体験」しませんか。

クッキングや食事会など、年齢を問わずいろんな皆さんが集まって外国語によるコミュニケーションを楽しんでいます。今年、あなたの参加をお待ちしています。

## ▶▶平成22年度 文教アートウェイブのご案内

「文教アートウェイブ」は、文教会館の自主事業で、地域の人々に芸術文化活動の発表の場を提供し、地域文化の振興を図る目的で行っています。ホール利用日数は3日以内（リハーサルを含む）で、ホール利用料と冷暖房費を無料で利用できます。出演を希望される方は、どうぞ文教会館事業課までお問い合わせください。



第20回 高巾晶子 大竹沙里 ピアノコンサート



第21回 エコール・ドウ ハナヨバレエ

【平成23年度の応募期間】 平成22年5月1日～9月30日

## &lt;今後の公演予定&gt;

※詳しくは、チラシ・案内をご覧ください。

## ■第22回 フルートとピアノのジュン ～breeze～ 6月6日(日) 開演 13:30

フルートの川中志保さん、齋藤舞歌さんは「アンサンブルパステル」のメンバーで、現在は、全国を回り学校講演など活発に活動中です。ピアノの清水史津さんは、金沢市内の中学校教諭で「ラ・フォル・ジュルネ」などで活躍中です。

## ■第23回 劇団北陸新協 第108回公演「未定」12月3日(金) 4日(土) 開演 未定

団員それぞれが仕事を持ちながら演劇活動をしています。街で見かける普通の人たちが、幕が上がると俳優に変身です。生の演劇を鑑賞してみるのも、驚きですよ。

## ■第24回 金沢桜丘高校吹奏楽部 クリスマスコンサート

12月26日(日) 開演13:30

高校生によるコンサートです。小さいお子さんたちも集まってください。楽しいクリスマスになりそうですね。

## ■第25回 フローリン・クロイトール&amp;生垣淑子デュオリサイタル

平成23年3月20日(日) 開演19:00

生垣淑子さんは、現在、県内の小学校や福祉施設でのコンサートなどに活躍中です。今回は、ヴァイオリニストのフローリン・クロイトール氏が生垣さんの呼びかけでルーマニアから友情出演です。1部では、幼児や障害のある子どもたちのためのコンサートも計画中です。

## 編集後記

当財団の教育資料調査室に県外から教育資料についてのお尋ねが増えてきました。

9月の終わりには、東京大学大学院の学生さんから、明治5年の学制以前の金沢における小学校教育について資料がないか電話を頂き、丁寧に対応することができました。

また、12月には、國學院大学の教授2人が金沢出身で東京府知事(大正4年)になられた井上友一氏について調査に来られました。

金沢市立馬場小学校とも連絡をとらせていただき、大変喜んでいただきました。地下の資料はホームページで公開しています。よろしかったら一度のぞいてみてください。

文責 坂井芳子